

平成23年8月7日
今週のベストショット



H23. 8. 7 青松園A 奈多サンデーズ対レッドサンデーズ戦

昨年の屈辱的な大敗を教訓に、今年目標のひとつであるレッド戦勝利をゴールド&ノーヒットノーランで飾った奈多サンデーズの面々。左からHRの前田篤志選手、荒口健二捕手、須藤義史投手、HRの木下隆弘選手。

青松園A

奈多サンデーズ	4	0	0	5	5	1	4	(五回コールド)	勝投手：首藤	HR：木下、田中(俊)、前田
レッドサンデーズ	0	0	0	0	0	0	0		負投手：土師	HR：なし

昨年の対戦ではレッドサンデーズが11-1でコールド勝ちをしているサンデーズ同士の対戦は、初回から対照的な立ち上がりを見せた。奈多は三連続四球と二失策に適時打で4点を先制する。一方レッドは全てフライアウトで三者凡退スタートとなった。その後も奈多はバントを多用した二、三回こそ得点がなかったが、強打に転じた四、五回の2イニングで9安打3本塁打と打線が爆発し、更に10点を追加する猛攻を見せつけた。レッドも球威十分の奈多・首藤投手に向かっていくが2四球1失策以外のランナーを出すことが出来ない。最終五回に代打攻勢をかけるものの、いずれも内野ゴロに討ち取られ、奈多サンデーズ・首藤投手は見事ノーヒットノーランを達成。サンデーズ対決は奈多がコールドで勝利を収め、昨年の雪辱を果たした。(記事：塩浜ジャガーズ高嶺)



打った瞬間それと分かる右越え本塁打を放った奈多サンデーズ木下隆弘選手。



バント・走塁に加えて打の方でも活躍して11点目のホームを踏む奈多サンデーズ野田俊憲選手。

青松園B

ブルーマーリンズ 00000 0 負投手：友重 HR：なし
三苦三球会 2764× 19（五回コールド） 勝投手：吉留 HR：松永×2、澤田、藤澤

一回表ブルーマーリンズは、三球会吉留投手の力強い球に押され気味で三者凡退に終わる。その裏三球会は、1番藤澤康隆選手が右前単打と思われた打球を外野守備の隙を突いて一気に二塁を陥れると、3番洪田正勝選手の左前タイムリーと、5番塚太一選手の犠牲フライで2点を先制する。続く二回裏、先頭の7番仲村泰洋選手が左前安打により出塁するも、8番・9番が凡退に終わり無得点に終わるかと思われたが、1番藤澤選手の四球、2番澤田剛選手の二塁打、4番小倉圭太選手の左前タイムリーにより着実に追加点を奪うと、二死満塁の場面で6番松永達彦選手のグランドスラムによりこの回7点を追加し、試合の流れは三球会へ。さらに三回裏、澤田選手のスリーランとこの日2本目となる松永選手の本塁打により6点を奪う。一方ブルー打線は、要所で繰り出される吉留投手のライズボールに完全に封じ込められ、あわや完全試合かと思われたが、五回表の一死からブルー5番阿部光廣選手が四球で唯一の出塁を果たす。が、吉留投手は動揺することなく、堂々のノーヒットノーランを達成した。（記事：新町パイレーツ石橋）



三試合連続HRの三球会澤田剛選手。
貫禄のホームイン。



三球会吉留隆久投手は、ライズボールを駆使した
クレバーな投球でノーヒットノーラン達成！

雁レクE

三友クラブ 334001 11 勝投手：足達 HR：なし
ソルトベイスターズ 000100 1 負投手：中村（耕） HR：なし

初回三友クラブは、相手守備陣の乱れに乗じ3点を先制すると、続く二回にも谷崎の中前タイムリーなどで3点を追加した。三回には竹岡・松尾・谷崎の三本の内野安打にエラーが絡みさらに4点を奪い、一方的な展開となった。対するソルトは三友の足達投手に完全に抑えられていたが、四回、中村（健）が四球で出塁すると、すかさず盗塁に成功。悪送球の間に1点を返した。六回、三友はヒットで出たランナーがエラーで生還してダメ押しの11点目を奪うと、その裏の攻撃を三人で片づけ、時間切れによりこの回で終了した。三友・足達投手はソルト打線を田中（裕）選手の三塁打一本に抑えるほぼ完璧なピッチングであった。対するソルト・中村（耕）投手および代わった中村（祐）投手とも打ちこまれたとは言い難く、要所で出た守備の乱れがことごとく点に結びついてしまった。（記事 雁ノ巣ライナーズ 三宅基裕）



わずか一本でノーヒットを逃した
三友クラブ足立敬祐投手。



負傷の駄原選手に代わって「代走オレ！」
三友クラブ広瀬勉監督。

奈多グラウンド

三苦フレンズ 00000 0 負投手：井上 HR：なし
三苦ホーネッツ 42121x 10 (五回コールド) 勝投手：井手 HR：稲葉、松尾

一回表フレンズは、四球と送りバントで得点圏に走者を進めるも一本が出ず無得点に終わる。その裏、ホーネッツ先頭の山崎健太郎選手がセーフティバントと二つの盗塁で無死三塁のチャンスを作ると、四球の後3番稲葉紘一選手がスリーラン、更に5番松尾卓選手にもソロHRが飛び出し、初回到4点を先制する。続く二回裏、追加点を奪いに下位打線が奮闘するもあっさり二死となり、1番山崎選手のセンターフライで無得点に終わると思った瞬間、フレンズセンターが落球し嫌な流れが漂うと、そのミスにつけ込み、2番永島貴文選手の三塁打と三番稲葉選手のタイムリーで2点を追加する。三回表フレンズは、あっさり二死に追い込まれたが、2番田中盛幸選手がチーム初ヒットでクリーンナップを迎える形になるところ、痛恨のオーバーランにてタッチアウト。四回表に、またも二死から5番寺山栄一選手が内野安打にて出塁し、6番御手洗文男選手の絶妙なセーフティバントでチャンス拡大！と思いきや、自身の足に当たってアウトと、要所要所でミスが出て流れに乗れない状況。五回表、8番吉村雄二選手のヒットから一矢報いたいフレンズであったが、後続が続かず無得点に終わる。その裏、1番山崎選手のタイムリーで10点差コールドゲームとなった。(記事：奈多クラブ 吉田貴史)



ホーネッツ稲葉紘一選手の痛烈な当たりが三塁手の脇を突き抜ける。



ミスも加わり、ホーネッツ井手投手を攻略できなかったフレンズ打線。

第14週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

8月最初の四試合で、ノーヒットノーランが二試合も出ました。青松園Aの奈多サンデーズ対レッドサンデーズ戦で、奈多サンデーズの須藤-荒口バッテリーが2四球1失策のみでレッド打線を抑えて見事達成！青松園Bの三球会对Bマーリンズ戦では、三球会の吉留-藤澤バッテリーが1四球のみでBマーリンズ打線を抑えて見事達成です。そして、惜しかった2試合が、雁レクEで行われた三友クラブ対Sベイスターズ戦の足立-谷崎バッテリー。たった1本のヒット、たった1つのエラーによる失点で大記録を逃しています。それと奈多グラウンドのフレンズ対ホーネッツ戦。ホーネッツ井手投手が先週の痛い敗戦を引きずることなく、無失点に抑え完勝しています。

また、今週は勝利チームが全て2桁得点をマークし、勝利チーム合計が54点と、これは記録なのではないでしょうか？

更に、敗れたチーム合計との点差(54-1=53点差)も記録なのではないでしょうか？

記録委員の早田さん、もしくは前記録委員長の富安さん、いかがでしょう？

来週はお盆休みで試合がありません。

連日30度を超える夏真っ盛りではありますが、お盆も近いですし、水の事故には十分気を付けて下さい。本日10日はサッカー日本対韓国戦、明日11日は福岡県代表の九国大付属高校の甲子園初戦ですね。スポーツも熱い！